



第6回小浜温泉「ジャカラダフェスタ」開催

6月18日(土)に第6回小浜温泉「ジャカラダフェスタ」のイベントの一環として、小浜公会堂で、牧野東京大学大学院情報学部准教授より、「大震災に学ぶ＝地域力・伝統を活かした安全・安心な観光・環境のまちづくり＝」と題して、特別講演が行われました。

宮田代表世話人の「まちづくりのためには、自分たちでまちを見つめ直すことが必要であり、特別講演を良い機会にしたい」と挨拶がありました。また、当日は雨でありましたが、会場には100人を超える聴講者があり、遠方からは田口副代表世話人と西海地区の皆さん(20名余り)や平戸市からも多くの方が参加してありました。



【宮田代表挨拶の様子】



【会場は100人を超え満席】



【講演会配付資料】



【牧野氏の講演様子】



【東日本大震災のボランティア活動状況写真】



【町田副市長からお礼の挨拶】



国道57号小浜地区のジャカラダについて(6月18日)



【当日は雨ではありましたが、ジャカラダを撮影する人も】

小浜町の国道57号の通りには、綺麗な紫色のジャカラダの花が咲いておりました。今年は冬場の厳しい寒さや6月に入ってから日照不足の影響で、例年より2週間ほど開花が遅かったようです。観光で雨の中写真を撮られる方も拝見しました。

佐世保市立潮見小学校の花植え活動

6月14日（火）、国道35号佐世保市潮見交差点付近で潮見小学校の児童211名が花植えを行いました。今年も種から育てた、百日草800苗・マリーゴールド840苗、合計1,640苗を植栽帯に植えました。子供たちの笑顔の中、自分たちで育てた苗を一生懸命植えていただきました。



また、花植えの前準備として植栽帯の土作りを行っていただいているVSP会員など（潮見小学校区町内連絡会・道守会員の中村造園・小学校PTA）の皆さまありがとうございました。

佐世保中央IC・相浦中里ICで樹木生育調査を実施

7月1日（金）、佐世保中央IC及び相浦中里ICで樹木の生育調査を実施し、国土交通省から9名が参加しました。

西九州自動車道 佐世保中央IC及び相浦中里ICは、「周囲の森との調和」と「地域に親しまれる道路づくり」を目的に、一昨年より市民の手によって植樹が行われています。

今回、一般の方が立ち入ることができない自動車専用道路区域内等で樹木の生育調査を実施しました。

梅雨空の下、汗を流しながら約2時間にわたり調査した結果、植樹時には低かった樹木も、人の背丈以上に大きく生長し、順調に育っていることが確認できました。

今後も、インターチェンジに森を育むための取り組みとして、毎年市民の皆さんに調査結果をお知らせし、地域に親しまれる道路づくりを目指していきたいと考えています。

< 写真:佐世保中央IC 県道法面 >



H22.9.11



H23.7.1(約10ヶ月後)

< 写真:佐世保中央IC 県道法面 ヤマザクラ >



H22.9.11(高さ1.9m)



H23.7.1(約10ヶ月後 高さ2.4m)

参加者募集 ~大村マイツリー美化活動~

前はあいにくの雨で中止となりました、大村市国道34号沿いで「マイツリー美化活動」を実施します。大村市民が中心となって、街を美しくする美化活動です。一人でも多くの方に参加してもらいたいと思っておりますので、皆様も是非、ご参加ください。

日時 : 平成23年7月23日(土) 8:00~(約1時間程度) 雨天中止
 場所 : 大村市役所正面玄関前に集合

美化活動 in 大村・国道34号
 平成23年7月23日(土)
 8:00 集合
 9:00 開始
 参加者募集

お問い合わせ
 情報送付先

【道守長崎会議広報担当】国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所調査第二課 池田
 住所: 〒851-0121 長崎市宿町316番地1
 TEL: 095-839-9861 FAX: 095-839-9648 E-mail: ikeda-k8910@cqr.mlit.go.jp